

# 1歳6か月児の事故予防

## 今日から始める事故予防

子どもの死亡原因の多くに「不慮の事故」がありますが、子どもの事故は、年齢別に起こりやすい原因も対策もある程度わかっています。普段の生活環境を見直すことが事故防止につながります。

また、子どもの事故は保護者の目の前で発生することが多いです。ちょっと目を離したすきに、事故が起きてしまいますので、しっかり見守ることが大切です。

## 窒息

- ・敷布団やマットレスはかためのものを使用する
- ・掛布団は軽いものを使用する
- ・子どもの近くに口や鼻を覆ったり、首に巻き付いたりするものは置かない
- ・寝かせるときは仰向けに寝かせる



## 誤飲



- ・おもちゃ購入時は、対象年齢を必ず守る
- ・年上の兄弟のおもちゃは、対象年齢に届くまで手の届かないところに保管する
- ・たばこは子どもの目に触れない場所、手が届かない場所に置く
- ・包装フィルムやシールがついているものでは遊ばせない

## 水まわりの事故

- ・大人が髪を洗うときは、子どもを浴槽から出す
- ・お風呂から上がるときは子どもを先に出す
- ・入浴後は浴槽のお湯を抜き、浴室に子どもが入れないようにする
- ・子どもだけで海や川で遊ばせない

## やけど

- ・高温の飲み物等はテーブルに置くときは中央に置き、子どもの手が届かないようにする
- ・電気ケトルや炊飯器から出る蒸気に触れてやけどをすることがあるので、子どもの手が届かないようにする
- ・床に置くタイプの暖房器具は安全柵などで囲む

## 転落

- ・ベッドやソファにできるだけ寝かせない
- ・ベビーベッドの柵は上げておく
- ・抱っこ紐の使用時に前にかがむ時は、必ず子どもを手で支える
- ・おんぶや抱っこは低い姿勢で行う
- ・ベビーカーのベルトは正しくつける
- ・ショッピングカートは幼児用座席以外に子どもを乗せない



## 自動車、自転車の事故

- ・必ずチャイルドシートを使用する
- ・車のドアや窓を閉めるときは、子どもの顔や手が出ていないか確認する
- ・子どもが開閉操作ができないように、ロック機能を活用する
- ・子どもだけを置いて自動車や自転車から離れない
- ・自転車は乗せる前にヘルメットをつけ、必ずシートベルトをしめる



## その他の事故

- ・包丁、ナイフ、はさみ等は子どもの手が届かないところに置く
- ・キッチンには危険なものがたくさんあるので、ベビーゲートなどで子どもが入れないようにする
- ・ビーズやプラスチックの玉、小さなおもちゃは子どもの手が届かないところに置く
- ・ドラム式洗濯機は、未使用時は蓋を必ず閉めて、チャイルドロック機能を利用する。
- ・歯磨き中は歯ブラシを口にくわえたまま歩かないようにする
- ・箸やフォークなど喉突きの危険性がある日用品は口に入れたまま歩いたり、走ったりしないようにする
- ・エスカレーターを利用する際は、必ず大人が手をつなぐ



## 問い合わせ先

湯沢市子ども未来課（こども家庭センター）  
子ども子育て応援班 ☎ 0183-55-8275